

# 夏休み工作教室in一関「3Dプリンタで作った部品を利用してオリジナル風車・水車を組み立てよう！」を実施

平成28年8月10日（水）、一関高専内の流体工学実験室で標記の工作教室を実施しました。この工作教室は、やくらい文化センターからの依頼で毎年実施しているものです。

小中学生9名、保護者2名が参加し、本校からは機械工学科教員2名（八戸 俊貴、若嶋 振一郎）および技術専門職員2名（三浦 正治、小岩 俊彦）が製作指導・補助等の対応をしました。

当日は簡単な説明の後、マニュアルを用いて各自で組み立てを行いました。その後風洞や回流水槽を用いて実際に動かして動作確認を行いました。上記後には学内施設の見学会も実施しました。

実施後のアンケートは好評であり、来年も参加したいといった意見も多数ありました。

